

親愛なる卒業生の皆さんへ

(2018年12月15日 第27回機友会定時総会、第31回しもつき会総会開催に寄せて)

大南 正瑛

「機友会」ならびに「しもつき会」の総会にご出席の皆さん。年の瀬も迫ってきましたがお元気でお過ごしのことと思います。今回もメールで総会での挨拶とさせていただきます。

わたくしは立命館大学工学部機械工学科を1954（昭和29）年3月に卒業して以来、立命館大学はじめ京都大学、広島大学、京都橘大学、大学基準協会（東京）、大学コンソーシアム京都等で仕事することになりました。そのお蔭で皆さんはじめ多くの卒業生諸君と先輩・同輩、社会の皆さん方と、教育、研究、大学経営と評価の思い出の深い時間をともにできたことを心から喜び、深く感謝しています。わたくしは、いま立命館大学の名誉校友のひとりであり、またブリティッシュコロンビア大学（バンクーバー）とアメリカン大学（ワシントンDC）の校友（客員）でもあります。世界の大学は大学関係者の自助努力だけではなく、卒業生はじめ世界・社会の多くの人びとによって支えられています。大学の評価は世界と社会で活躍する多くの卒業生の活躍に負うところが大きいのです。機友会が機械工学科の先生方と在校生の親睦会からはじまって、いまや広く機械システム系学科の卒業生を中心に全国的な親睦組織へ発展していることはうれしいことです。あらためて皆さんのご活躍とご援助に感謝いたします。

こう書けばぜひ総会に駆けつけたいところですが、足腰が不自由で欠席するのが残念です。いま近隣以外はタクシー生活です。好きなスケッチを鉄道とタクシーで往復するひとり旅や少人数での友人・校友との会食会を楽しんでいます。毎年の高槻・島本校友会総会、近くに在住の機友会の皆さん10人ほどの毎年の新年会、ほぼ同年輩の立命校友10人の毎月の昼食会には近くということもあって出席しています。ここでわたくしのいま想うところを少しのべて挨拶とさせていただきます。

2018年に車いすの宇宙物理学者のスティーブン・ホーキングさんが亡く
なられました。享年78歳。ホーキングさんから斬新な宇宙誕生説を学びま
す。また、2017年10月に、現代材料強度学を代表する横堀武夫さんが逝
去されました。先生から英文拙著『Fracture and Society』(Ohmsha,
Ltd.-IOS Press,Ltd.1992)の評価を受けます。享年99歳。ご冥福をお祈り
します。

わたくしの趣味の油彩は心象先行型です。人物の心意や風景の背景（非線
形の知＝森羅万象を横断する普遍性、現象の多様性、場所的な固有性）を想
像します。絵画の最大の魅力は描く対象の心意をイメージして、対象から刺
激と励ましを受けることです。絵を画く極意は感動であり、そこに絵のもつ
パワーを覚えます。富士山はその好例です。わたくしも富士画を描くこので
きる歳（米寿）になりました。絵画は概念をつくる物語でもあります。絵を
描くと物語が生まれるのです。また物語から絵が生まれるのです。今年は隔
年にプリントする『画文集 生かされて6』をつくりました。拙画文集ですが
皆さんにもお送りしてご批評を受け、自らの記録としていきます（ご希望の方
は氏名・送付先・電話番号をお知らせくださればお送りします）。

住いの居間にむかしローマで買い求めたミケランジェロの「ピエタ」の大
判の写真があります。サン・ピエトロ大聖堂で観た、キリストの亡きがらを
抱く聖母のため息が出るほどの美しさが忘れられません。21歳の青年ミケラ
ンジェロ・ブナローティがローマへ来て2年で彫りあげたルネサンス芸術の
粹です。1527年のローマ劫掠（神聖ローマ皇帝兼スペイン王カール五世の
軍によるイタリア破壊）後のローマ壊滅のなかで、ミケランジェロが描きあ
げたのがバチカン宮殿システーナ礼拝堂の彼の畢生の大作「最後の審判」（彼
61～66歳）です。それを観たときの感動がいまでも忘れられません。危機に
もう一つの意味 ^{アナニブスイ}蘇生を見いだした古代ギリシャ人の精神を思います。現代
に照らして思いしらされるのです。

大南正瑛